

■スペイン・アルジェリア：国際連系線を建設し、サハラ砂漠の太陽光をスペインへ

スペイン政府とアルジェリア政府は 2009 年 3 月 30 日、両国を直結する電力連系線の新規建設について会談を行った。同計画は、2007 年末に着工された Medgaz 天然ガス輸送パイプラインに沿って電力連系線を布設するというものである。これが実現すれば、スペインは、サハラ砂漠に設置された太陽光発電プラントで発電した電力を輸入することが可能となる。交渉は始まったばかりであるが、両政府とも、建設コストが高いために、民間資本のみでの建設は困難と見ている。